

# 京丹波町公共事業再評価審査委員会

## 第 2 回会議（会議概要）

日 時 平成 2 4 年 2 月 1 5 日（水）  
午前 9 時 3 0 分 ~ 正午

場 所 和知簡易水道事業施設

出席委員 9 名

（ \* 設置要綱第 4 条第 2 項の規定により、本委員会が成立）

### 1 開 会

- ・副町長挨拶
- ・委員長挨拶

### 2 議 事

#### 【前回の質問に対する回答】

##### ・委員

下水道の加入率はどのようになっていますか。

##### ・担当課

和知地区には農業集落排水、林業集落排水、簡易排水、浄化槽と 4 事業があり、対象人口は 3 , 5 2 1 人で、加入人口は 2 , 7 0 2 人で加入率は 7 6 . 7 4 % となっています。

##### ・委員

事業再評価報告書の中で、丹波瑞穂と和知との連絡管の整備は不可能と検討中と記載されており、整合が取れていないがどのようにするのですか。

##### ・担当課

現在、旧町での計画に従い事業実施していますが、整備完了後には緊急時の総合融通のための白土、中山間に緊急連絡管は必要と考えますが、それには配水池、ポンプ設備などが必要となるため、整備には、今後十分な検討を重ねていく必要があります。

##### ・委員

停電時の対策についてどのようになっていますか。

##### ・担当課

自家発電機の設置は重要と認識していますが、維持管理費が多額になります。そのため、停電時には、仮設用としての発電機を業者に依頼し、稼働するための受電盤の設置を検討しています。

また、集中監視システムについては、UPS の設置を検討中です。

これらの整備については、事業の中で整備可能であります。

##### ・委員

水道料金と事業の関係についてはどのようになっていますか。

- ・担当課

料金改定に伴う和知西部地区の地元説明会では、事業未実施地区での料金値上げは反対という意見や、今後の整備費用に使われるものならやむを得ないなどの意見をいただいた。引き続き、設備投資により安全で、安定した水の供給ができるよう進める必要があると認識しています。

( 1 ) 現地踏査 ( 別紙日程表 )

- ・担当課から各施設の概要について説明  
( 主な意見・質問等 )

- ・委員

集中監視システムの稼働状況はどのようになっていますか。

- ・担当課

携帯を利用したリアルタイムな情報が得られるため、早急な対応が可能となっています。

たとえば、先日の寒波で漏水による配水地水位低下においては、夜間にも関わらずいち早く現場に駆けつけることができ、対応することができました。

- ・委員

膜ろ過システムを採用する意義について説明して下さい。

- ・担当課

1 つには耐塩素性病原生物( クリプトスポリジウム等 ) の除去に優れています。

2 つには豪雨時に水源地上流で濁りが発生しやすく、この濁りは砂ろ過施設では取りきることができない濁りの除去が可能です。

- ・委員

膜ろ過システムには特殊な装置が使用されているため、予期せぬ事が起こることも予想されるため、既存の施設の蓄積データをもって適切な維持管理費を見出して頂き事業推進をお願いします。

- ・担当課

十分検証をして実施していきたいと考えています。

3 その他

- ・今後の日程について  
第3回：2月28日(火) 午前10時から

4 閉会

- ・隅山副委員長挨拶

別紙

平成23年度第2回 京丹波町公共事業再評価審査委員会

現地踏査日程表（平成24年2月15日）

午前 9時30分 役場前 集合

午前 9時35分 役場前 出発

午前 10時10分 上谷浄水場（才原地内）到着

午前 10時40分 上谷浄水場（才原地内）出発

午前 10時55分 西部浄水場（大簾地内）到着

午前 11時15分 西部浄水場（大簾地内）出発

午前 11時50分 役場前 到着

事務連絡後、解散